

2022年 1月11日

「LIVELY VILLA」が松山市のワーケーション施設に採用

帝人株式会社が展開する高機能繊維を用いた複合材料集成材「LIVELY WOOD」を使用した木造モバイル建築ユニット(*1)「LIVELY VILLA」が、愛媛県松山市が推進する「スマートアイランドモデル事業」の実証実験として、市内の宿泊施設「ほしふるテラス 姫ヶ浜」のワーケーション(*2)施設に採用されました。

- (*1) 木造モバイル建築ユニット：柱や梁などに木材を使用した、居住することができて移設可能な建築物。
(*2) ワーケーション：「ワーク」と「ケーション」を組み合わせた造語。観光地など自宅以外の非日常的な場所で、リモートワークを行いつつ休暇を楽しむ新たなワークスタイル。



瀬戸内海国立公園内に浮かぶ中島の姫ヶ浜ビーチにある「ほしふるテラス 姫ヶ浜」は、松山市が運営する宿泊施設です。豊かな自然を活かし、農山漁村に滞在して地域の文化や生活を体験するグリーンツーリズムや、観光と環境保全を両立するエコツーリズムなどの組み合わせでワーケーションを促進し、夏の海水浴シーズン以外の集客につなげることを目指しています。一方、市が推進する「スマートアイランドモデル事業」は、島の人口減少や高齢化、不便な公共交通など、離島ゆえの課題を解決し、賑わいの創出を目指す事業で、産学で構成される「松山市SDGs推進協議会」と連携して実証実験を進めています。

このたび採用された「LIVELY VILLA」は、サイズが長さ約6m、奥行き約2m、高さ約2.8mのもので、柱や梁などに国産木材を使用し、大きな窓を取り付けることで、ワーケーションに適した開放的で温かみのある室内空間を実現します。「ほしふるテラス 姫ヶ浜」の敷地内に2台設置し、約1年間の実証実験の間、ワーケーション用の施設として活用されます。また、万一の災害時には、「LIVELY VILLA」を移動させることで、仮設住宅や保健室として活用することもできます。

帝人は「松山市SDGs推進協議会」の一員として、市が推進する「スマートアイランドモデル事業」を支援しており、地域の課題解決への貢献に努めています。また、「LIVELY VILLA」を普及させることで、木材の地産地消の促進や災害時の貢献を目指し、長期ビジョンである「未来の社会を支える会社」となること、およびSDGsの目標達成に向けて邁進していきます。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055